



# くろするろ〜ど

2020/5月号 第249号



かいほうし  
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たすあ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動  
をつづ 続けています。

## 「新年度を迎えて」

かいちょう たかみ まさあき  
会長 鷹見 正昭

新型コロナウイルスの感染が、3月以降急速に拡がりました。その後、「緊急事態宣言」が発令され、不要不急の外出を自粛するよう関係者へ要請されました。今までに経験したことの無い非常事態となりました。これに伴い、当サロンも市と協議し、関係者へ対応を周知してきました。

予定していた、「日本語発表会」は中止。「日本語教授法研修 初級Ⅱ」も3月分を中止にしました。また、通常の「日本語学習会」も3月・4月 全て休校。また、文化交流部会の諸行事も全て中止にしました。現在、サロンの活動はすべてが停止した状態になっております。

今回の新型コロナウイルスは、感染してから最大2週間後までに発症すると言われております。そのため、感染経路の解明を難しくしております。また、症状は個人によって異なり、極めて軽症で済む人もいますが、重症になる人もいますので侮れませ

ん。  
この様な時に、私たちが出来る大事なことは、自分自身が感染しないことです。人込みの多い混雑した場所へ行くことは、感染リスクを増幅させます。専門家の間では、終息は夏頃になるだろうと予想している方もいます。私達は、この状態が長く続くことを覚悟しなければなりません。大変忍耐のいることです。

大切な家族や知人を守るためにも耐えて頂きたいと思っております。そして、必ず終息する時がきます。

それまでは、自分自身の安全を第一に考えて行動するようにお願いします。

新型コロナウイルスが終息したら、サロンの学習会は再開します。イベントや交流事業も再開します。その時、学習者及びボランティアの皆さんが元気に来訪してくれることを心待ちにしております。

## ～サロン月間カレンダー5月～

### サロンの今後の活動についてのお知らせ

コロナウイルス感染症が世界中に広がっています。東京も感染者が4654人(5/5現在)に達し、府中も66名の方が(5/5現在)感染しています。4月7日に国から発令された緊急事態宣言が、5月4日時点でさらに5月31日まで延長されました。サロンもそれに合わせ、5月11日から再開を予定していたすべての活動を引き続き休止します。詳しいことは、サロン事務局までお問合せ下さい。

#### ■日本語学習会

5月の活動は中止

#### ■実行委員会

5月の委員会は中止

#### ■文化交流活動

5月の活動は中止

#### ■新年度教授法研修会Ⅰ・Ⅱ

今年度は中止

# 世界の文化

## 日本語学習発表会誌上紹介



3月14日に予定していた恒例の「日本語学習発表会」は、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。学習者の皆さまが、発表を目指して一生懸命に書き上げたスピーチ原稿を、発表会に代わりこの欄で順次、紹介していきます。

### 「違うことは楽しい」

#### バラルタ ジュリア (イタリア)

わたしは、バラルタ ジュリアです。日本人の男性と結婚するために、イタリアから来ました。

ブルガリアで留学をしていたわたしは、同じように留学に来ていた夫と出会いました。

今日は、結婚前に彼がわたしの故郷でおどろいた体験を話します。

イタリアでは、あたりまえなことが日本では不思議なこと。反対に日本では、あたりまえなことがイタリアではすこし変なことがあります。

最初に彼がおどろいたのは、バスの乗り方です。彼はローマを旅行中、バス停で待っていてもバスが止まらない事におどろきました。イタリアではバスを止めるときは、手を振る必要があります。また、バスに乗るためには、事前にチケットを買っておく必要があります。チケットは、カフェやタバコ屋さんで売っています。

次に彼をおどろかせたのは、彼は読書をしようと、イタリアで、スターバックスやターリーズやドトールなどのチェーンカフェを探しましたが、イタリアにはない事におどろきました。イタリアではカフェに長時間いる文化がありません。なぜならイタリア人は、小さなカップで、エスプレッソを飲むから

です。専用のポットを使って家で作ります。また、カフェでエスプレッソを飲むときは朝食としてクロワッサンと一緒に飲んですぐに仕事へ行きます。ちなみに、スターバックスは昨年ミラノに1号店ができました。

ほかに、彼が驚いたのはトイレです。彼が初めてイタリアでトイレに入ったとき、普通の便器のほかにも少し低くて小さなシンクのようなものが並んでありました。それはビデです。ビデとは、足とおしりを洗うための便器のようなものです。

そのほか、ピザはひとり1枚ずつ頼むとか、イタリアと日本は違う文化や習慣がたくさんあります。

サロンで勉強しているみなさんやボランティアさんも同じようにおどろいたり、困った経験がありませんか。

彼とわたしは、時々【違うていること】にがっかりしたり、おどろいたりします。しかし、【違うていること】をおおいに楽しんでもあります。

今日は、わたしの話を最後まで聞いてくださってありがとうございます。



# 「日本でのベトナム人専業主婦の一日」

グエン ティ トウイ (ベトナム)

皆さん、こんにちは。ベトナムからまいりました Thuy と申します。

専業主婦ということばはたぶん、皆さんだれでも知っていると思います。それに、日本人専業主婦は一日、何を楽しめるか、何を困るか、よくご存知だと思いますね。

しかし、日本で住んでいるベトナム人のお母さんたちはどうですか。日本人と比べて何が違うか、一番困ったことはなんですかね。これについて皆さんにお話したいと思います。自分のことなのでつまらない話だと思いますが。

むかし、ベトナムに住んで子供がまだいない時に、子供がいても生活はそんなに苦しくならないと思っていました。なぜかという、ベトナムでみんなはほぼ、産んだ後から子供が5、6歳になるまでおばあさん2人にいつも面倒を見てもらいますからとても安心です。おばあさんだけでなく、時々おじいさんやしんせきにも手伝ってもらって助かります。家族が近くに住んだらいいですね。

それで、娘と一緒に日本に来てここでの生活を少しずつ過ごしていました。朝起きて、そばにおばあさんがいません！夫はもう会社に行ってしまいました！で、私と娘は2人しかいないので、何でも自分でやらないといけません。

朝ごはんをつくったり、通園のものを用意したり、娘を保育園へ送ったり、毎日繰り返しています。保育園で子供のことについて先生と話すのも大変だと思います。特に日本語が下手な私にとって！

そのあと、休憩時間もなしですぐにバイトに行かなくてはなりません。夫が稼ぐだけではお金が足りないですからね。で、仕事ではまだ下手な日本語なのでいろいろな困っていることがあって、仕事がうまくいかなくてとても疲れしました。

バイトが終わったらすぐに娘を迎えに行きます。スーパーマンみたいと思いますね。止まる時ありませんから。

買い物時間はどうですか、と聞いている人もいる

と思いますね。もちろん、保育園から帰る時に買い物をするよ。子供と一緒に！娘をじっと見ながら買い物をするのも大変です。

あとは家に帰ってまた、晩ご飯づくり、子供にシャワーを浴びさせて部屋掃除していただきます。ほぼ全部が終わったら夫は帰りました！まあ、一日はこのように過ごしていました！

日本人と比べて一番困っているのは、外国人なので友達が少なく、相談や共有する人も少ないのでいつもいつも1人で全部やらないといけないのです。もちろん夫に全てのストレスを解消できますが、夫は仕事なので日中はどうしても手伝えません。また、文化と生活環境についてはベトナムと日本が全然違いますので、慣れてこないと何もうまくできないのです。

例えばですね、初めての時にスーパーへ行く一番簡単なことも、私は1人で出来ていなかったです。道が分からないし、人に聞くことが苦手だし、食べ物にはベトナムと随分違うので買ってもその後どうすれば良いかも分かりませんでした。とても大変な時間でした。でも、うれしかったです。

毎日、夫の応援をもらって少しずつ生活に慣れるように頑張ってきました。

「家族のため、子供のため、もっと頑張らないと！」という気持ちで毎日大変なことを乗り越えてきました。今までできていた私、うれしいです。最初と比べて1日は相変わらず24時間です。でも今は、24時間の私の1日は、楽しいこと、うれしいこと、幸せなことがいっぱいあふれています。

皆さん、聞いていただき、ありがとうございます。た。



# 「私に影響を与える人たち」



クリス ダフィー (オーストラリア)

私のふるさと ~21~

去年の3月にオーストラリアから来ました。私に影響を与える人について話します。それは私の身近な人達です。

まず私の父です。彼は50年間同じ会社で働きました。これは私に責任の大切さを教えてくれました。彼は親切についても教えてくれました。彼はいつも「親切にすることにはお金はかからない」と言いました。つまり、出会うすべての人に優しい気持ちで関わることは、簡単と言うことです。

2番目は母です。母は教師で多くの生徒に協力してきました。他の人がどのように感じ、考え、生きるのかを見てから、助けたり判断する必要があるあります。母は人と一緒に考えることを教えてくれました。

3番目は私の兄弟です。彼は私に頑張る事と回復する力をつけることを教えてくれました。彼はいつも情熱を持って仕事をしていて、仕事がすべて終わるまであきらめません。

4番目に私のフィアンセのローレンです。彼女は忍耐と幸せを教えてくれました。人生で最高のものを持つ価値があることを学びました。毎日彼女と一緒にいると、喜びと笑顔でいっぱいです。

最後に私にとって大切なキャラクターについて話します。それは「くまのプーさん」です。プーさんは周りの友達や人々を大切に思います。彼は時々苦勞しますが、彼の行動はいつも皆を引きつけます。プーさんの中で大切なことを教えてくれる言葉が2つあります。

1つは「自分を変えてくれるものが自分をつくるのだ」です。これは誰もがユニークで誰もが自分に貢献する何かを持っていることを教えてくれます。

2つめは「君は自分が思っているより勇敢で、見かけより強く、自分が思っているより遙かに賢いんだよ」です。プーさんの言葉は私にとって、いつも自分自身を信じて、自分を誇りに思う事を教えています。



少しの思いやりと少しの気遣いが全ての違いを作ります。すべての人に思いやりを示すことが大切です。

## 「磯部と大手拓次—ある思い出—」

月曜午後ボランティア 佐藤 英子

私は群馬県安中市の片田舎で生まれました。最寄りの駅は信越線の磯部駅、駅周辺には信越化学の工場と、磯部温泉の宿が数軒あります。(隣の安中駅の駅前には、東邦亜鉛の工場が段丘状に広がっています)。

一見、殺風景で無機質なこれらの風景ですが、その夜景など、私は意外に気に入っています。

詩人大手拓次が磯部で生まれたのは1887年(明治20年)、一体どんな風景を見ていたのでしょうか？

半世紀も前のある日、中学3年生の私は知らない人から1通の手紙をもらいました。差出人は前橋市の女子高校生(3年生)のSさんで、「大手拓次の詩碑を見学したいので案内してもらえないか」という内容でした。若者向けの雑誌の読者投稿欄で私の住所を知り、詩碑の場所に近いのではないかと思います。そうです。(当時は、個人情報問題など気にせず、住所も名前も掲載されていました!) 彼女の手紙で私は、大手拓次という、郷里が生んだ詩人を初めて知りました。

日曜日、案内役ではなく、Sさんの後について碓氷川原に建つ詩碑を訪ねました。Sさんは「これで心置きなく受験に集中できる。国文学をやりたい」と話してくれました。後日、お礼の手紙が届き、「高校生になったら是非、折口信夫の『死者の書』も読んでみてください」とありました。

後年、知り合いがSさんの高校の後輩とわかり、この話をすると、「ああ、文芸部だったあのSさん? 国語の先生になって、結婚して」「でも、病気で亡くなったと聞いた気もする…」という予期せぬ言葉が返ってきました。

評価、好き嫌いは別にして、大手拓次という詩人を教えてくれたSさん、その一期一会の思い出は私の中で磯部と深く結びついているのです。

\*編集部注：<sup>へんしゅうぶちゅう</sup> 大手拓次<sup>おおてたくじ</sup>（1887年～1934年）は、フランス<sup>しやうちやうし</sup> 象徴詩<sup>えいしやう</sup>に<sup>う</sup>影響<sup>げんそう</sup>を受け、<sup>げんそう</sup> 幻想的世界<sup>せかい</sup>を<sup>こうご</sup>口語自由詩<sup>こうごじゆうし</sup>で<sup>ひやうげん</sup>表現<sup>たいしやう</sup>し、<sup>しやうわしよき</sup> 大正から昭和初期<sup>かつやく</sup>にかけて活躍した。同じ群馬<sup>おなぐんま</sup>が生んだ萩原朔太郎<sup>はぎわらさくたろう</sup>に<sup>ただい</sup>多大な<sup>えいしやう</sup>影響<sup>あ</sup>を与えたことでも知られる。



<sup>あんなかし</sup> 安中市にある<sup>おおてたくじ</sup> 大手拓次の<sup>しひ</sup> 詩碑

わたし  
私の☆つぶやき

## 「カルネアデスの舟板」<sup>ふないた</sup>

パンデミックが世界を覆う中、4月1日付の朝日新聞が、「命、選ばざるをえない」という見出しでニューヨークの医療が崩壊状態にあることを報道していました。人工呼吸器が足りず治療をする人を選ぶ必要性に迫られ、命を救えるかもしれない患者の一部を放置せざるをえない、と記事は伝えていきます。これを読み、昔読んだ松本清張の小説『カルネアデスの舟板』を思い出しました。

「カルネアデスの舟板（あるいは板）」とは、古代ギリシャの哲学者、カルネアデスが編み出した寓話です。船が難破し海に放り出された乗組員が、浮いている1枚の木の板を見つけそれにしがみついています。もう一人の男もそれにしがみつこうとしました。板は、一人だと浮きますが、二人だと沈んでしまいます。先にしがみついた男は、あとからきた男を突き飛ばし、結局その男は溺死します。果たして、突き落とした男は殺人罪に問われるのだろうか。この話をとおしてカルネアデスは、極限状況に置かれた人間のこの行為が正当化されるかを問いました。

翻ってわたしが生きている今。コロナウイルス感染で生死の境を彷徨う重症患者が二人いる。だが、人工呼吸器は一つしかない—そのような極限の状況が現実にはニューヨークでは起きつつあるので、「命」を選ばれたくない、「命」を選びたくない—そんな残酷で悲しい事態が広がらないことを祈るばかりです。  
(編集部・和田)



# 皆さんよろしく◇学習者紹介

# ことばの由来

ニザモフ・シロジディンさん(ウズベキスタン)



## 「家族が来日するのが楽しみです」

首都タシケントの北西シルダリア川に近いグリストン市から2019年8月来日しました。

東京農工大学修士課程でcrop irrigation(作物の灌がい)の研究をしています。

ウズベキスタンの大学では植物の水やりを自動化する研究をしていました。2010年に卒業し、3年間Dustlik Canal Organizationで働き、その後1年間インドでどうしてもしたら植物への水が長い時間保てるかという勉強をしました。その後4年間はCotton Research Instituteで仕事をしました。

ウズベキスタンはシルダリア川とアムダリア川の水をタジキスタン、カザフスタンとで分け合っている関係で、水は貴重なものなのです。それ故植物と水の関係の研究は重要で、修士課程、博士課程を卒業した後、Ministry of Agriculture of Uzbekistanで仕事を予定しています。

奥様と4歳と1歳のお嬢さんは、今はウズベキスタンで暮らしていますが、9月には日本にやってきます。待ち遠しい気持ちで毎日を送っています。

弟さんが日本の大学に留学していたので、府中国際交流サロンを薦めてくれたそうです。

先日の第3小学校訪問にも参加して、日本のお子さんたちと触れ合うことが出来てとても楽しい時を過ごしたとのことでした。(堤林)

## 「コロナを、力合わせて『いちころ』な！」

今、私たちは力を合わせて新型コロナウイルスを『いちころ』な(だ)!とSTAY HOMEに取り組んでいます。

この「いちころ」という言葉は、「一度でころり」を短くした言い方で「ころり」は、本来は擬態語です。物が転がる様子を示しています。そこから「一度だけで相手を転がす(倒す)、あっけなく片が付く」という意味で使われます。

また、「コロリ」や「コロ」は、「コレラ」の異名としても使われてきました。コレラは、安政の大獄の年(1858年)から6年間流行し、二三日以内でころりと死に至る場合が多いことから、コロリと呼ばれました。その後、文明開化と言われる世界に開かれた日本へと進んで行きました。

ペストの場合は、14世紀のヨーロッパ、そして世界を恐怖のどん底にたたきつけましたが、それを機に封建社会から決別し、人間を復興させるイタリア・ルネッサンスを誕生させています。

また、1665-66年にロンドンを襲ったペストの時は、ソーシャル・ディスタンスを導入し集会を禁止。大学も閉鎖しています。それを機に学生だったニュートンは、実家で思索にふける休暇を過ごすことができ「万有引力の法則」の発見など「三大業績」を成し遂げています。この期間は「創造的休暇」とも呼ばれています。また「天才とは忍耐である」とはニュートンの至言です。

私たちも、忍耐の中、創造的に価値ある時を楽しんで過ごし、来るべき新時代を迎えたいと思いますが、いかがでしょうか。(編集部・末田)



# ひろ ば みんなの広場

## 「新型コロナウイルスの情報 第2弾」

外国人のための新型コロナウイルスに関する情報をご紹介します。

### ◎ 外国人が相談したいとき

(編集部)



### ◎ 10万円給付に関する情報

新しいコロナウイルスが広がって、みんなが大変になっているため、1人10万円をもらうことができます。以下のページの案内をみてください。

[特別定額給付金\(新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連\)](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/gyoumukan_ri_sonota/covid-19/kyufukin.html)

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_seisaku/gyoumukan\\_ri\\_sonota/covid-19/kyufukin.html](https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/gyoumukan_ri_sonota/covid-19/kyufukin.html)

→ [特別定額給付金のご案内\(日本語版\)](#) ほか、[英語](#)、[中国簡体](#)、[中国繁体](#)、[韓国](#)、[ベトナム](#)、[フィリピン](#)、[ポルトガル](#)、[スペイン](#)、[インドネシア](#)、[タイ](#)、[ネパール](#) があります。

### ◎ 府中市内の感染情報

市長のTwitter [https://twitter.com/norio\\_fuchu](https://twitter.com/norio_fuchu)

↓ (2020/4/20時点での感染者数など)

[新型コロナウイルス感染者情報①~④](#)



## 「学習者に励ましを」

府中も市内全域にコロナウイルス感染が広がり、高野市長のツイッター(4/20発信)によると市内在住・通勤の方を合わせて36名の感染者が出ているとのことです。

コミュニケーションを取るのが難しい学習者にとっては、さぞ不安な日々が続いていることと思います。実際に、3月末に帰国を予定していた中国人学習者が、自国の入国禁止措置でいまだ帰れないとか、また一方で、ベトナムから妻子を呼びたいが来日できないとかの事例があります。

サロンは3月2日以降活動を休止しており、学習者との交流が途絶えています。そんな状況の中で、彼らの不安を少しでも和らげるために、是非ボランティアの方々から学習者の方々に励ましの声をかけていただきたいと思います。

各学習部会の部会長、副部会長と連絡を取りつつ、まずは自分が担当している学習者に声をかけていただけたらと思います。また、その際、サロンのホームページを見ることも勧めていただきたいと思います。

(注): この記事にある高野市長のツイッター(4月20日付け)の感染者数は、月間カレンダーの最新数とは異なりますが、記録として残す必要があると判断し掲載しました。(編集部)

きょうどうすいしんか じんじいどう  
「協働推進課の人事異動」

協働推進課の古村（旧姓・竹本）優紀さんが、4月1日をもって武蔵台文化センターへ転任されました。古村さんは、2016年に入庁され、以来4年にわたりサロンの活動を支えてくださいました。長い間、いろいろとありがとうございました。また、同じく協働推進課の前澤恵介課長も、行政管理部次長兼財産活用課長に転任されました。サロン運営には、いろいろとアドバイスをいただき、ありがとうございました。

古村さんの後任には松本梨代さんが、前澤課長の後任には阿部美佐課長が着任されました。

今後ともサロンの支援をよろしくお願いいたします。  
(編集部)



れいわ ねんどよさん  
「令和2年度予算」

新型コロナウイルスのまん延に伴い、政府による緊急事態宣言で、学習会はもとより、実行委員会も開催することが出来ませんでした。

今年度の予算を4月中に決めなければならないので、メールまたは郵便にて実行委員会の委員が採決し、4月30日に可決されました。

受託会計1,904,000円、事業部会計56,600円となりました。  
(編集部)

ある出来事が、次々と連鎖を生み思わぬ結果を引き出すということの例えで、「風が吹けば桶屋が儲かる」という諺があります。

世界中に蔓延している新型コロナウイルスが今、思わぬ一いや、73年前にアルベルト・カミュはすでに小説『ペスト』で予言していましたが一負の連鎖を次々と引き起こし、文明社会を脅かしています。

サロンも影響を受けて活動を休止中ですが、『くろろろーど』だけは、会報部会スタッフの努力で発行を継続しています。3月号、4月号、そしてこの5月号も皆さまの手元に届くのは先になるかと思いますが、新型コロナウイルス感染がまき散らしている連鎖が終息し、すべての人が「桶屋」のようにhappyになることを祈りつつ、また、この非常事態を記録として残しておくことも念頭に入れながら発行を続けていきたいと思えます。  
(和田)



【創刊】 1997年 11月

【編集】 編集長：和田泰弘

会報部会：堤林・和田・岩城・末田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>